

平成**27**～**28**年度 群馬県教育委員会
「確かな学力」研究推進校事業



<研究主題>

「確かな学力」を身に付けた児童の育成

～指導体制の工夫と「考え、表現させる授業」の改善・充実を通して～

2年次／2年間指定

館林市立第三小学校

本校の研究について

学校教育目標の実現

研究主題:「確かな学力」を身に付けた児童の育成

目指す児童像

習得した知識・技能を活用して課題解決できる児童

習ったことを使って自分の考えをもつ子
再考してよりよい考えをもつ子

1. 指導体制の工夫
(1年次の重点)

2. 活用に視点を当てた
「考え、表現させる授業」
の改善・充実(2年次の重点)

1. 指導体制の工夫(1年次の重点)

(1) 算数科におけるきめ細かな指導の効果的な実施

- ①低学年 → TT指導
- ②中高学年 → 習熟度別少人数指導

(2) 高学年における教科担当制の責任ある指導体制の工夫

- ①担任4名と専科3名による各教科の専門性を生かした授業づくり
- ②教科担当制部会の開催

(3) 学力の定着を図る補充体制の確立

学習補充時間の週時程への位置付け

算数低学年のTT指導

T1とT2の役割分担を明確にした、
T1とT2が同等の指導

【T1とT2の役割分担】

- * 協働して問題提示
- * 「板書」と「ノート指導」
- * 「上位児童への支援」と「下位児童への支」
- * 「定義やキーワードの確認」と「全体のまとめ」
- * 適用問題の「支援」と「見取り」

TT指導の成果は・・・

○児童の**興味・関心**

○**知識・技能の定着**

○**教材・教具による指導方法の充実**

○**つまずきの十分な把握**

→個に応じたきめ細かな支援



TT指導の課題は・・・

*

- 「一斉に指導」「等質に分けて指導」「習熟度によってグループに分けて指導」するなど、指導体制や指導方法をさらに工夫を

中高学年の習熟度別少人数指導

各コースの共通部分と相違部分を明確にした指導

【チャレンジコース・じっくりコースの共通部分と相違部分】

- (例) *
- * 実生活の想起や体験活動を通して問題提示
 - * 「絵図の提示」「絵図や具体物の提示」
 - * 問題の数値の工夫(簡単な数値に)
 - * 既習事項との類似点や相違点を踏まえた
めあての設定
 - * 「各自で見通しを立て解決」「全体で見通し
を立て同じ方法で解決」 など

習熟度別

少人数指導の成果は



【チャレンジコースの児童】

- 多様な思考の時間が確保
 - 発展問題や活用問題への取組
- 活用する力を伸ばす

習熟度別 少人数指導の成果は・・・

【じっくりコースの児童】

- **分からないところ**が分かる
- **つまずき**に対応して**ゆっくり**学習
- **コース別**になることで**自分の考え**を説明
- **基礎的・基本的な知識・技能**の習得



習熟度別 少人数指導の課題は・・・

*

- 計画的に「TT指導」「課題別に班編
制」するなど、指導体制や指導方法
をさらに工夫を

高学年 教科担当制のしくみ

○教科担当の分担

- * 教科担当 A (6年担任) → 国語
- * 教科担当 B (6年担任) → 社会
- * 教科担当 C (5年担任) → 算数 (チャレンジコース)
- * 教科担当 D (5年担任) → 体育・図工
- * 教科担当 E (専科) → 算数 (じっくりコース)
- * 教科担当 F (専科) → 理科
- * 教科担当 G (専科) → 音楽・家庭科

教科担当制部会の取組

毎月第1水曜日・・・ **教科担当制部会**

○メンバー

教頭、教務主任、高学年担任4名、専科3名

○内容

- * 指導体制の調整・確認
- * 指導方法の見直し
- * 情報交換

教科担当制におけるTT指導

○高学年の教科担任制と専科の授業における 担任等の授業参加(TT)の例

- * 国語 …… 「話す、聞く」活動の際のモデル
- * 社会 …… 課題別調べ学習
- * 算数 …… 単元末の定着の時間
- * 理科 …… 児童の安全面に配慮する実験
- * 体育 …… 器械運動

教科担当制の成果は・・・

【教師】

- **専門性**の発揮
- 時間をかけた**教材研究**
- 2年間を見通した**授業計画**
- きめ細やかな**生徒指導**



教科担当制の成果は・・・

【児童・保護者】

- 児童・・・「授業が分かりやすい」「授業が楽しい」
- 保護者・・・「学力向上に効果がある」

→ **教科担当制が肯定的に捉えられている**

教科担当制の課題は・・・

●授業内容や授業時数、宿題の内容や量などについて十分な教員同士の連絡・調整を



学力の定着を図る補充体制の確立

「パワーアップタイム」の週時程への位置付け

基礎・基本の定着を図るため

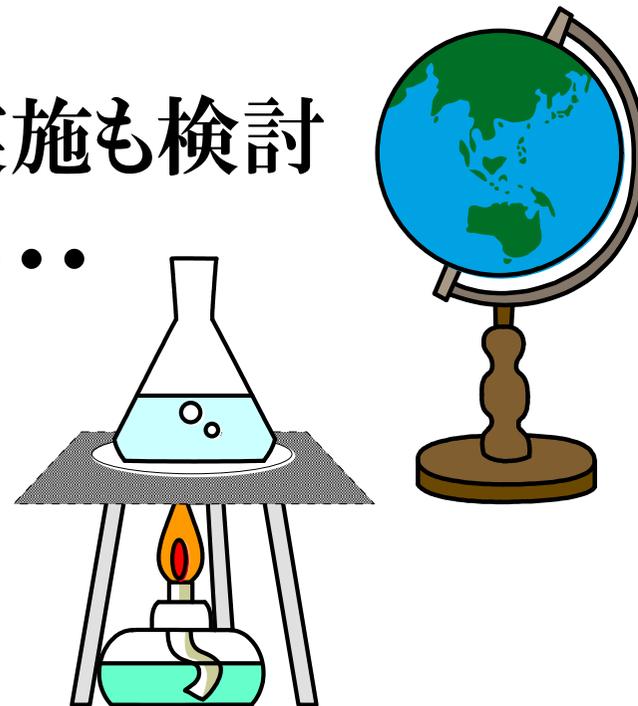
- * 給食後の10分間
- * 国語と算数の問題を隔週で
- * 活用力を伸ばす問題（文章問題・応用問題）
- * 基礎的・基本的事項の定着を図る問題
（漢字・言葉・計算練習）
- * 算数は担任と専科教員等のTTで

補充体制の確立の 成果と課題は・・・

○国語と算数の**基礎的・基本的な知識・技能の定着**

●国語・算数以外の教科の実施も検討

→**他教科の学力向上**にも・・・



「考え、表現させる授業」の
改善・充実に重点を



パワーアップタイムの様子

2. 活用に視点を当てた 「考え、表現させる授業」の改善・充実 (2年次の重点)

目指す児童像

習得した知識・技能を活用して課題解決できる児童

習ったことを使って
自分の考えをもつ子

再考して
よりよい考えをもつ子

既習事項の活用の工夫

考えを広げたり深めたりする工夫

授業の改善・充実のための取組

「考え、表現させる授業」の具体化

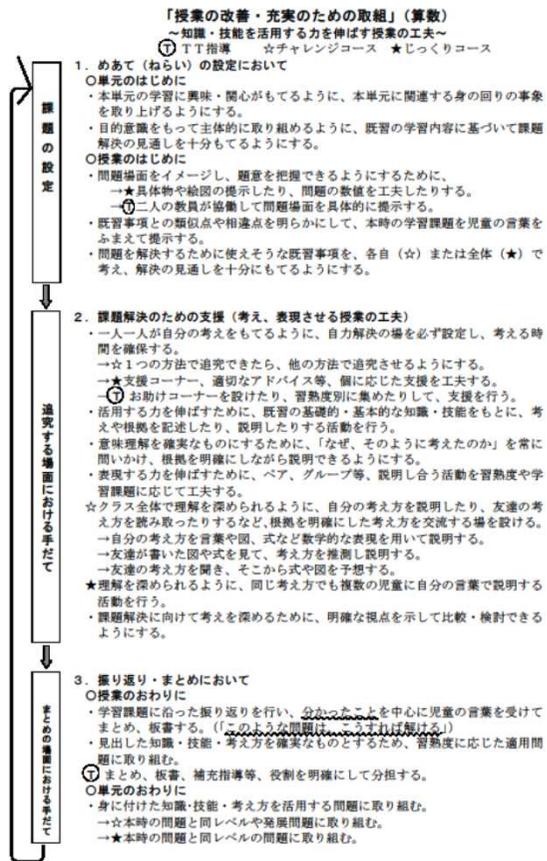
国語、社会、算数、理科、体育、音楽の6教科で

「授業の改善・充実のための取組」の作成

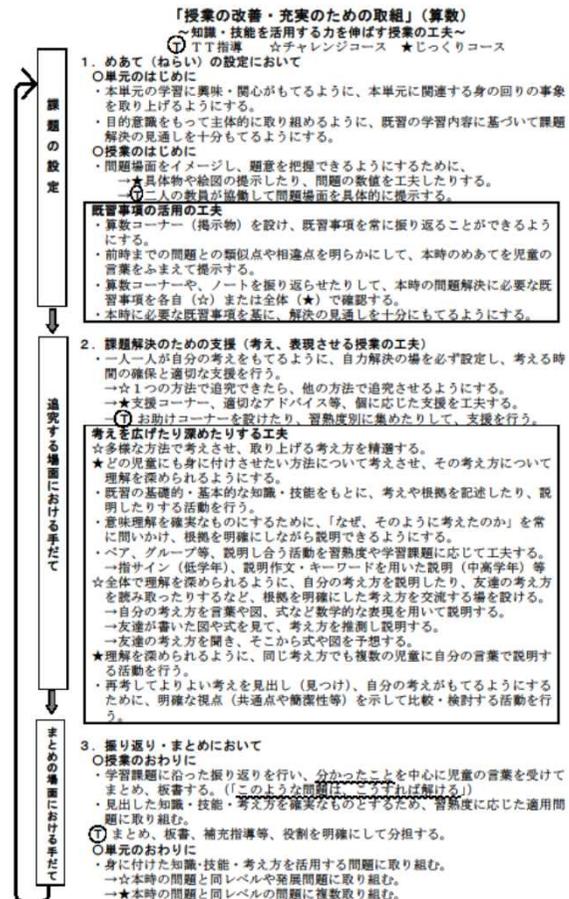
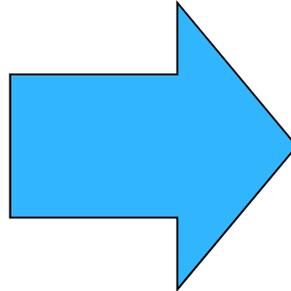
既習事項の活用の工夫

考えを広げたり深めたりする工夫

「授業の改善・充実のための取組」(例:算数)



昨年度



今年度

活用に視点を当てた 「考え、表現させる授業」の改善充実

既習事項の活用の工夫

- * 必要な既習事項を**選択**
- * 既習の知識・技能を適切に組み合わせて**活用**

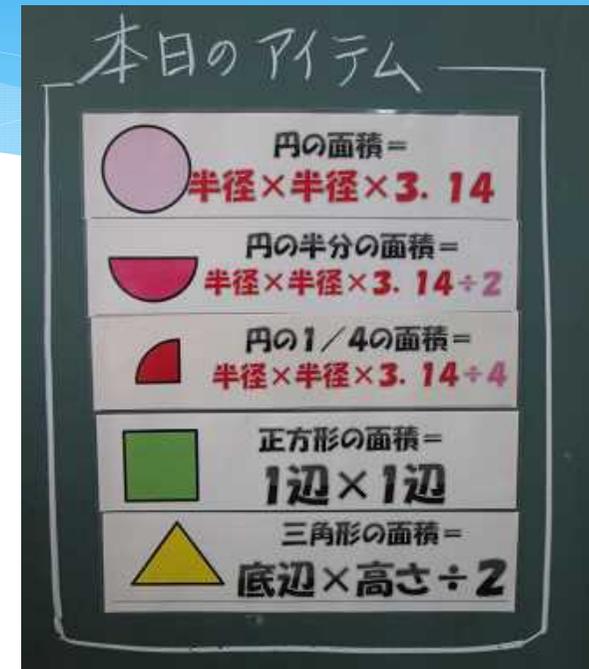
考えを広げたり深めたりする工夫

- * **自分の考え**を伝える
- * **友達の考え**を受け入れる
- * **多様な考え方**を比較・検討

既習事項の活用の工夫

工夫の例として・・・

- ◇既習学習の掲示
- ◇ノート等の振り返り
- ◇言語活動につながる学習
- ◇資料の読み取り方やまとめ方



既習事項の活用の工夫の成果は・・・

○課題解決に必要な既習事項を児童自らが進んで探し、選択し、解決しようとする姿

○見通し→自力解決
→自分の考えをもつ



考えを広げたり深めたりする工夫

工夫の例として…

- ◇交流形態（ペア、班、全体）
- ◇交流方法（班編制、タブレットの活用）
- ◇付箋紙の活用
- ◇指サイン ◇キーワードの提示
- ◇視点を明確にした比較・検討
- ◇関連付け

考えを広げたり深めたりする工夫の 成果は・・・

○他の人との意見交流



再考する



自分の考えをよりよいものに



考えを広げたり深めたりする工夫の 課題は・・・

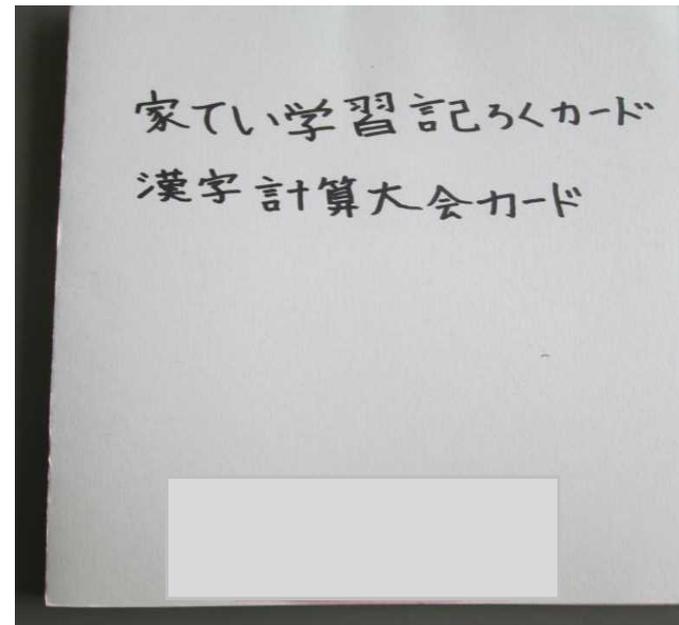
(2) 考えを広げたり深めたりする工夫について(課題●)

- 再考して得たよりよい考えを、また活用できるように
- 今後も「習得」→「定着」→「活用」の流れを意識した指導を

その他の 学力向上に向けて取組は・・・

(1) 学力調査等を活用した
本校の**実態分析と組織的な取組**

(2) 家庭との連携



学力調査等を活用した 本校の実態分析と組織的な取組

- * 全職員による**全国学力・学習状況調査**問題への取組と結果分析・方策の策定
- * **CRT学力検査**の結果分析・方策の策定
- * **単元テスト**の結果分析・方策の策定
- * 「活用する力を伸ばす『**評価資料集**』」の活用

本校の実態分析と組織的な取組の 成果と課題は・・・

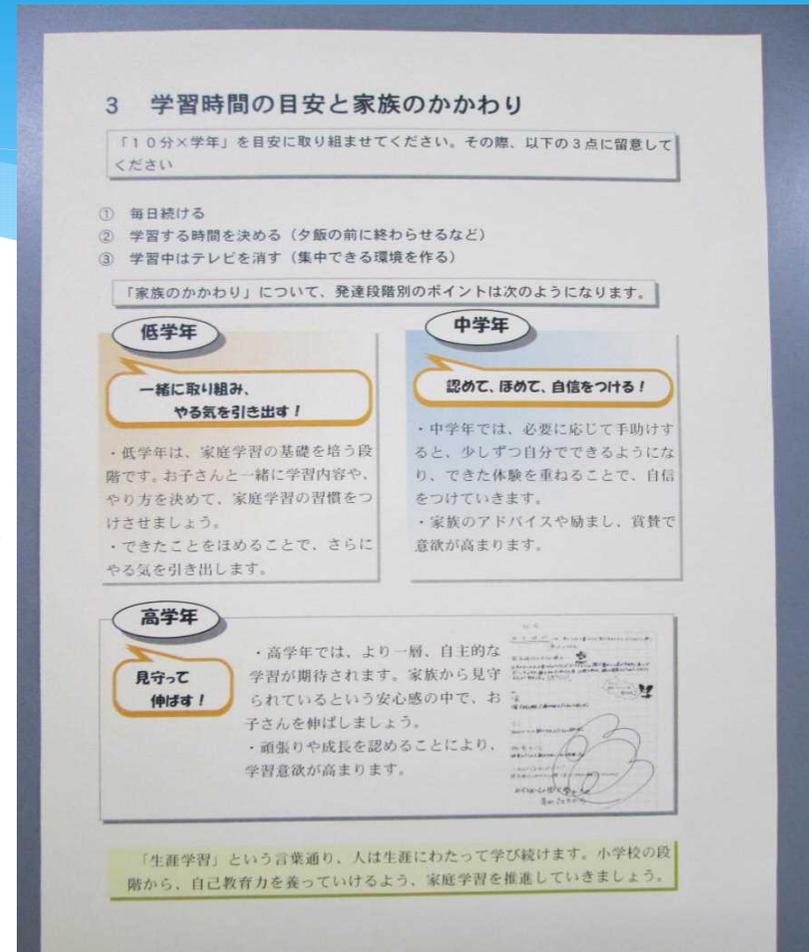
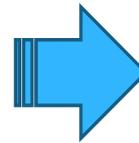
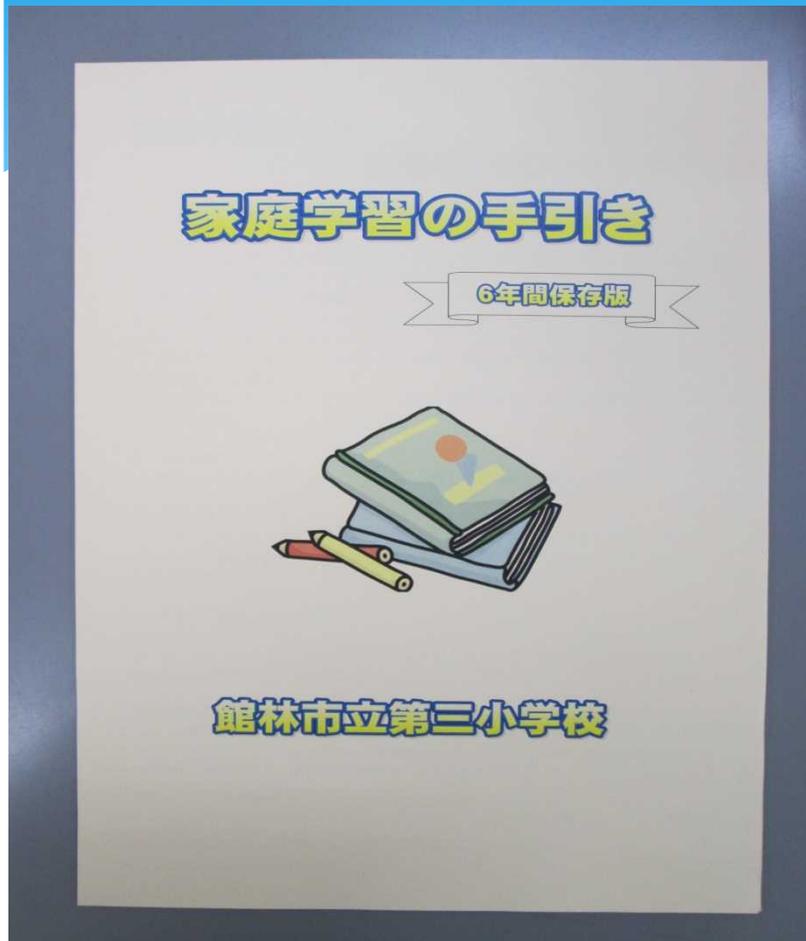
成果は・・・

- 各学年で必要な指導(重点指導)
→全体で共有→授業改善

課題は・・・

- 共通理解した方策を、今後も引き続き各学年の
授業改善に

家庭との連携 「家庭学習の手引き」



「家庭学習の手引き」の改善、配布等による
児童・保護者との共通理解

家庭との連携 「自主学习強化週間」

家庭学習記録カード **6月**

今週1週間、家庭学習を記録しましょう。

今週の目標
 1週間2回以上読書をしよう。

6月	宿題 やったこと	自主学习 やったこと	読書 本の題名	学習時間	おうちの人 のサイン	先生の サイン
2/7 (月)	国語 算数 漢字	漢字2ページ	もうすぐ 雨に	1時間 30分		
2/8 (火)	国算 漢字	漢字1ページ 算数3ページ		1日時間 20分		
2/9 (水)	意味調べ 算数 漢字	国算 漢字	もうすぐ雨に 2回以上	2日時間 30分		
3/0 (木)	国算 漢字	漢字2ページ かけ算1ページ	ジキョウの女 おんこ 3回	2日時間 50分		
7/1 (金)	国算 漢字			50分		
感想 全日曜日には自学できなかったか らがムいおたいたです。			合計学習時間 9 時間 30 分		お家の方から 漢字・計算大会に向けて自学をいっしょい がんばったね!!	
毎日学習時間を記入したの。						

○カードは毎日提出しましょう。
 ○金曜日に感想を書いたら、お家の人ひとこと書いていただきます。
 ○7/4(月)に、またカードを担当の先生に出しましょう。

自主学习強化週間による家庭学習推進活動

→家庭と連携・家庭学習への意識の向上

研究の成果を
得点率で見えていくと…

【児童】

- **単元テストの得点率やCRT学力検査の得点率(全国との差)が前年度より上回った。**

CRT得点率（全国との差）の経年推移（1）

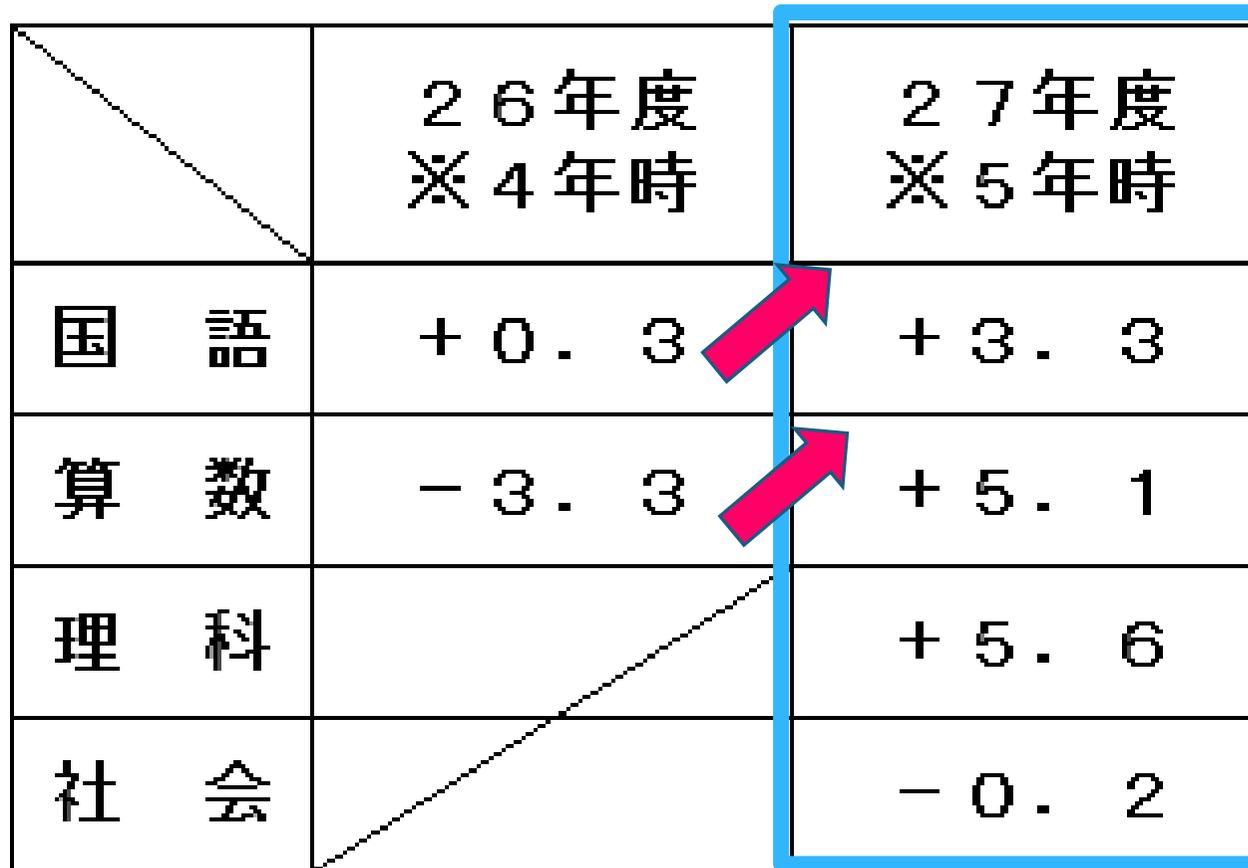
【現中学1年生】

	25年度 ※4年時	26年度 ※5年時	27年度 ※6年時
国語	+1.7	+6.6	+5.5
算数	-0.5	+0.1	+2.5
理科		+3.2	+6.2
社会		+4.3	+2.3

CRT 得点率（全国との差）の経年推移（2）

【現6年生】

	26年度 ※4年時	27年度 ※5年時
国語	+0.3	+3.3
算数	-3.3	+5.1
理科		+5.6
社会		-0.2



CRT 得点率（全国との差）の経年推移（3）

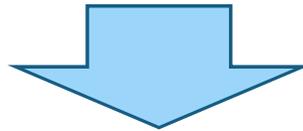
【現5年生】

	26年度 ※3年時	27年度 ※4年時
国語	+3.5	+5.0
算数	+0.7	+3.9



研究のまとめ

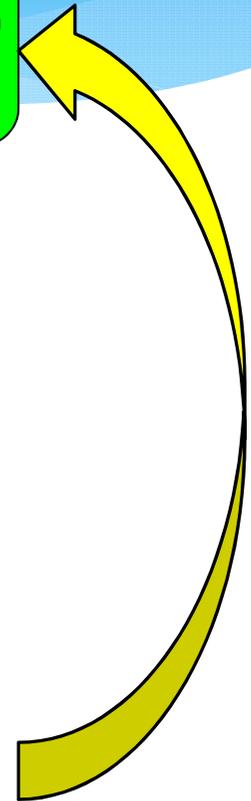
既習事項を活用して自ら思考



他の人と交流して再考



わかる・できる



ご清聴
ありがとう
ございました。

引き続き、授業研究会もよろしく申し上げます。



ぽんちゃん